

「仕事を継いで」とは見え  
ない敵ごとの中で

松岡 ところで皆さんそれぞれ、ご家族にお子さんがいらっしやるようですけれど、皆さんの職業をお子さんはどう見ておられますか。

照井 小学校3年生の娘が、朝起きて「学校をやめて『我良笑』で働く」と言っているんです。「なんでやめるの？」って聞いたら「今日は宿題やっていないから先生に怒られる」というんです。それで父さんが「じゃあ学校行かないんだったら『我良笑』で働くんだぞ。ところで計算できるのか？」と聞いたたら、子供は「できない」と。「じゃあ、計算できるようになってからやめていい」と言ったら、学校に行ったんですよね。(笑い)

石本 うちも継いでもらったら困



る、というのが夫婦の意見です。おじいちゃん、きつと継いでもらいたいだろうし、夫も本当は継いでもらいたいだろうけれど、今まで生きてきてつらかったから、同じようにつらいことはきつとさせたくないんだと思っんです。

由川 子供たちが集まったときに農家の話をしたんですけど、やっぱり親の姿を見て辞めちゃったというのはいくらもありましたね。子供たちが小さい時、夜遅くまで子供たちに大根の出荷用箱作りをさせたんですよ。そういうのを子どもたちはちゃんと覚えてる。もし(農業を)やりたい、と言ったら両手を広げてOKしますね。

神林 石本さんと同じで、継いでほしくはない、という気持ちです。私のところも楽な商売ではないです。家族で何かするなんてできないし、お正月もないし。こんなに

に忙しかったのかって思うほど、割に合わないですね。娘は、(現在の白樺荘)建て替え工

頼むね」ということができない。少し余裕があるんじゃないですかね。

神林 旭川に

は、かつて保母さんをしていた人のボランティアで、子供が急に熱を出したとか、急な用事のためにわずかなお金で子供を預かってもらえるシステムがあるんです。ちょっと急な時ということも結構あるので、「旭岳温泉ですけれどいいですか？」と頼んだことがあるんです。東川でもなるべく早く対応してもらえたらなあ、と思っしょうか。

松岡 緊急(の時間受け入れ)に対応できるような保母さんを確保してほしい、という声は結構あがっているんですよ。

神林 緊急に連絡がつくボランティアさん何人か登録しておけるといいですよ。

照井 もっと商店街が活気いっぱいになってほしい。町の中の空

中で休業中だったから産んだ、というのが現状なんです。その後産む機会が与えられなくて、次の妊娠をするチャンスもなかった。子供を身ごもりながら、その間を利用して調理師専門学校に通ったほど、時間がないんです。だから娘にはつらい思いはさせたくない、というのが正直な気持ちです。

照井 一生懸命働いてもめどがたないというか、4人の子供を生んだ時はいつも時間がなくて、ぎりぎりまで魚屋の土場に立っいて『イタタッ!』と座り込んではお客さんが来ると『いらっしやい!』なんて言っいていて、生んですぐに預けて。預ける時も子供はわんわん泣いて。そんなことの繰り返し。胸が張っている時も預けて。それが切なくて「もう嫌だ。正月ぐらいは家族で普通にいれるようなところにお嫁に行っしてほしい」と言っこともあった。

私の親は、本当に一生懸命働いた。そういう母親を見ていたから、絶対商売人にはならない、と思っっていたのに、結局商売人になった。そういう自分が今あるから、だから一人くらいは継いでくれるんじゃないかな。

松岡 将来も安定した生活ができることが見えるようになると、後

店舗って、なかなか貸しても売ってもくれない、ということがあるみたい。道路も街路灯もすぐきれいなんだから、もっと東川に来てほしい。

例えばお米なら、石本さんのお米、由川さんのお米、という具合にいろいろな生産者のお米がそれぞれお店にずらりと並んでいれば「今度は違うお米にしてみようか」と買いに来るんじゃないかと思っんです。

神林 インターネットでもできないかなあ。東川の〇〇さんのお米という風にならね。若い芸術家たちに空いている店舗を提供するというのもいいですね。芸術家がいたらいいですよ。

石本 東川のお米はどこに買に行けばいいの?と聞かれることもありますよ。

松岡 ところで今年は丑(うし)年ですから、最後に今年の抱負をお聞きしましょう。いかがですか。

由川 そうですね、時間を意義あるものに費やしていきたいな、と思います。高校生の農家泊受け入

やないかな。

保育園に迎えに行っった時「キキちゃんのお母さん、お魚臭い」と言われたことがあったんです。魚屋だから、私臭いんです。その時、その子供を捕まえて言っったんです。

「お魚食べるからね、元氣なんだよ」とね。するとその子は「おっ」と。そういう時、うちの子供たちは「大丈夫、臭くないよ、今日もかわいいよ」って言っくれるわけ。親がしてあげられない分、子供が守ってくれているような気がする。

子供を一時預かってもらえ  
る保育ボランティアの制度  
充実を

松岡 後継者をきちつと確保するためには、何が欠けているんでしょうね。働いたことが報われない、きちつと時間が守られないとか、ネックになるのはなんでしょうね。

石本 正当な報酬にならないというか。

松岡 将来も安定した生活ができることが見えるようになると、後

れでは、子供たちにおいしいお米を食べさせてあげたい。東川の良さも教えてあげたい。子供たちと一緒にやっっている剣道(の指導)は、ずつと仲良くやっしていきたいなと思っます。

石本 私は牛の歩みのようにゆつくりではあるけれど、しつかりと歩んでいきたいと思っっています。

照井 不景気で大変ですから、もう一度心の奥から燃えるように、いい意味で突進していきたいですね。

神林 私自身、丑年ですので、12年ぶりにお飾りを出してきました。食物、食に対して、今世の中がちょっと感覚がずれているのかな、と思っます。食をもうちよつと見直して、東川のおいしさを、おいしい水を、どうしたら伝えることができるのか。町に丸投げではなく、私たちが応援して何かできるものがあつたら、ワイワイ、ガヤガヤやっしてみたいと思っます。

— 本日はありがとうございました。(収録は昨年12月15日、役場応接室)

「今、生き生きと」は休載します。